**関西支部　平成29年度　第1回　技術サロン　開催のご案内**

関西支部長　小堀修身

　　日本は、外国に比べて台風、大雨、大雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火などの自然災害が発生しやすい国土である。昭和20年以降の自然災害をまとめた資料（気象年間、理科年表警察庁や消防庁資料等）によると70数年間でも63件を数えることができ、中でも平成7年の阪神淡路大震災、平成23年の東日本大震災では多くの犠牲者が報告されていることはよく知られている。日本の国土の面積は全世界のたった0.28％であるが、全世界で起こったマグニチュード６以上の地震の20.5％が日本で起こり、全世界の活火山の7.0％が日本にあるという。また、全世界の災害で死亡する人の0.3％が日本、全世界の災害で受けた被害金額の11.9％が日本の金額となっているという。日本は世界でも災害の割合の高い国であることが解る。

国連大学が世界171ヵ国を対象に自然災害に見舞われる可能性や対処能力を評価した「世界リスク報告書2016年版」によると、日本は総合順位で17位だった。地震、台風、洪水、干ばつ、海面上昇の5種類の自然災害について28項目の指標を設けて評価した。順位が高いほど災害に弱いとされ、このランクの上位には発展途上国が多い。また日本は自然災害に見舞われる可能性では4位だったが、インフラ整備や対処能力、適応能力などが評価されて17位になった。先進国では米国が127位、カナダが145位、英国は131位、フランスが152位などで、日本はやはり際立って高い。自然災害は避けられないが、少しでも人的被害、物的被害を軽減する「減災」が重要な時代を迎えていると言える。

今回は神戸学院大学　現代社会部　社会防災学科の中山学先生をお招きしてお話を伺います。先生の所属する学科では、人々の安全に暮らすための、防災意識の向上、企業が災害時にも事業を続けるためのリスク管理など様々な防災を学習しており、中山先生は耐震工学がご専門で、耐震工学や地震災害研究などを講義していらっしゃいます。先生には以下の様な興味あるお話を拝聴いたします。

　1．過去の地震の状況とその教訓

2．今後予想される地震

3．地震に強い社会に向けての防災対策

ご講演のあとはフリー討論を予定していますので、お気軽に先生にご質問下さい。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日時　　平成29年8月23日（水）　　15：00～17：00
2. 場所　　（一財）電子科学研究所　　6階会議室

　　　　　（大阪市中央区北久宝寺町2-3-6　ポニービル）

３　　　募集人数　30名（先着順）

1. 参加費　1,000円
2. 講演テーマ　歴史は繰り返される-----地震に強い社会の実現を目指して----

　　　講師　神戸学院大学　現代社会学部　社会防災学科　　中山　学先生

６．　　申込み先

　　関西支部のホームページ<http://www.jsndi-kansai.jp/>の「お知らせ」の「申し

込み」より、会員番号、住所、会社名、氏名、電話番号、Eメールアドレスを

記入してお申込み下さい。あるいは、E-mail([kansaishibu@esi.or.jp](mailto:kansaishibu@esi.or.jp))による申

込みも受け付けます。